

ミツバチでつなぐ、人と地域の新しいかたち

～地域コミュニティ再生×耕作放棄地活用×環境共生～



Bee-Life-Colony

課題

地域のつながりの希薄化

- ・自治会参加率が50年で90%から70%に減少
- 防災・防犯活動・伝統行事の継続力低下

コミュニティ不足

- ・地域住民の関わり合いの低下により、孤立する人の増加
- ・災害時の安否確認や情報共有が不十分になり、被害が拡大
- ・地域行事の消滅により、世代を超えた交流や郷土愛を育てる文化の縮小

ミツバチの世界的減少

- ・ミツバチ個体数が約20年間で40%減少
- 作物の受粉率低下による農業生産の不安定化

耕作放棄地の増加

- ・2015年、42万3千ha（富山県相当）
- 景観や環境の悪化、コミュニティ弱体化

耕作放棄地

- ・固定資産税や管理費がコンスタントにかかる
- ・景観や衛生の悪化に伴い、資産価値の低下
- ・害虫や野生動物の住処となり、周辺地域へのダメージ

解決と持続可能なビジネスモデル

①受粉サービス（ミツバチの受粉が必要な農家向け）：

- ・農地での巣箱設置、管理、採蜜をBee-Life-Colonyが行う
- メリット：農家はとれた蜂蜜を卸価格で購入、個人での販売

②土地提供プラン（耕作放棄地の所有者向け）：

- ・耕作放棄地での、植栽や管理、巣箱運用をBee-Life-Colony担当
- メリット：土地の価値レポート、蜂蜜での還元、景観維持

③フランチャイズオーナー（Bee-Garden運営者向け）：

- ・個人にBee-Life-Colonyが巣箱運用・蜜源植物管理のノウハウを提供
- メリット：オーナーは蜂蜜販売や体験イベントでの収益を受け取る
- Bee-Life-Colonyに対してロイヤリティを献上

経済的効果

- ・農家の付加価値向上
- ・土地所有者の負担軽減
- ・フランチャイズオーナーの収益源確立
- ・Bee-Life-Colonyのスケールメリット

土地・蜜蜂・体験が新たな価値となり、地域の収益源の多様化

環境的効果

- ・蜜源植物導入による植生の回復
 - ・ミツバチ中心の生態系改善
 - ・土地の劣化防止
 - ・小さな自然拠点の分散形成
- ミツバチを起点に、土地・植物・生き物の連鎖的な回復

社会的効果

- ・土地所有者との繋がり促進
 - ・コミュニティの形成
 - ・教育やイベント効果
 - ・地域イメージの向上
- ミツバチを軸に、土地と人同士の結びつきの広がり